

日本近代美人画の

～日本画家・鏑木清方とその一門を中心に～

魅力



講師

鎌倉市鏑木清方記念美術館 学芸員 今西 彩子 氏

2025 年

3 月 16 日 (日) 14 時～15 時 30 分 (開場 13 時 40 分)

参加無料 事前に二次元コードよりお申込みをお願いいたします。

入退場自由 (ご予約なしのお客さまも立ち見にてご参加いただけます。)



会場

紀伊國屋書店新宿本店 3F アカデミック・ラウンジ

JR「新宿」駅 東口より 徒歩3分

地下鉄丸ノ内線・副都心線・都営新宿線

「新宿三丁目」駅B7出口より 徒歩1分 (地下道より直結)



日本近代美人画の魅力

～日本画家・鏑木清方とその一門を中心に～

近代の日本画には、女性を題材にした美人画と呼ばれる作品群があり、明治から昭和にかけて様々な画家により多数描かれました。本講座では、近代日本画の巨匠と呼ばれた鏑木清方の多岐にわたる画業や、弟子たちの作品、少女雑誌を中心にご紹介し、美人画の魅力に迫ります。



講師

今西 彩子

鎌倉市鏑木清方記念美術館 学芸員



武蔵野美術大学大学院博士後期課程単位取得退学。
2010年より現職。専門は日本近代美術史・挿絵史のなかの美人画。
展覧会の企画・監修や、日本画と木版画のワークショップを各地で開催するなど普及に努めている。鎌倉アート&カルチャー MAP の企画運営 (<https://www.kamakura-arts.or.jp/kamakuraart/>) のほか『鏑木清方美人画集成』(小学館、2022年) 監修執筆 など。

鎌倉市鏑木清方記念美術館 今後の展示

企画展「着物の美 ―清方美人の着こなし―」

2025年3月1日(土)～4月13日(日)

休館日：毎週月曜日

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

観覧料：一般300円、小・中学生150円

美人画の大家である鏑木清方は、江戸時代から明治、大正、昭和初期の女性の着物姿を数多く描きました。季節を先取りした色合いや、重ね着の色の組み合わせ、日本の伝統の文様など、洗練された女性たちの着こなしは、清方作品の見どころのひとつとなっています。本企画展では、清方が愛した着物の美を、意匠を手がけた着物と着物姿の女性を描いた作品や挿絵でご紹介します。

【春休み親子鑑賞】3月26日(水)～4月6日(日)

期間中、小・中学生と同伴者は観覧料無料

鎌倉市鏑木清方記念美術館へのアクセス
JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車、
小町通りを北に徒歩7分左折。

美術館
HP



山川秀峰《うす雪》昭和2年(1927) 個人蔵

相模女子大学日本学国際研究所とは...

相模女子大学日本学国際研究所は、学術研究の拡充と活性化、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に開設しました。

本学には人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたっており、幅広い研究が豊富に蓄積されています。異なる観点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信することによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると考えます。

世界の側に立った視点で日本を見つめ、日本の立場に立っては見えない日本を見つける、本研究所の成果にどうぞご期待ください。

相模女子大学日本学国際研究所 siijs@mail2.sagami-wu.ac.jp

相模女子大学 <https://www.sagami-wu.ac.jp/l25th/>

